

三矢の訓



学校だより
令和2年4月7日
第1号
岡山市立伊島小学校

電話 (086) 252-2251
FAX (086) 252-5657
URL <http://www.city-okayama.ed.jp/~ishimas/>

「笑顔とあいさつ」「和・話・輪」でスタート



令和2年度がスタートしました。校門の桜やなかよし池の生き物たちから、春爛漫を感じ取られます。そして、校内には、春の花があちらこちらに咲き始め、新年度の出発を祝ってくれているようです。



今年度も学校だより「三矢の訓」を校長の和氣敬二が執筆します。学校での出来事等をお知らせする中で、私の思いや考えも合わせてお届けしたいと思います。ご愛読いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度、新しく12名の教職員が伊島小学校に着任してまいりました。74名の教職員と902名の伊島の子どもたちとで、「笑顔いっぱい・あいさついっぱいの伊島小学校」を創ってまいります。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちは、がんばる気持ちを胸に、新年度のスタートを切ることができています。その気持ちに応えられるように私たち教職員も頑張っていかなばと心を引き締めています。

子どもたちには、学校教育目標と目指す子ども像「つよく ただしく あたたかく」の3つの気持ちと姿勢を大切にしていくなために、4つの「あ」の花を咲かせようと話しました。

「あいさつ」の花.....「おはようございます!」「こんにちは!」の元気な挨拶が学校中に響き渡る学校

「あったか言葉」の花.....「だいじょうぶ」「ごめんね」「ありがとう」「一緒に遊ぼう」の優しい言葉がいっぱいの学校

「あきらめない」の花.....学習や行事に取り組む時に、めあてを設定し、最後までやり遂げようとする強い心がいっぱいの学校

「あんぜん」の花.....校内や登下校、また、帰宅後の暮らしの中で安全に気を配り、自分の命を大切にする学校

入学式では、136名の子どもたちが入学します。6年生をはじめ、上の学年の子どもたちが大切に伝統として育てている「つよく ただしく あたたかく」の実践を見本にしながら、小学校生活をスタートしていくこととなります。

学校教育目標「未来を拓く 心豊かな子どもを育成する」

- 「つよく」 : 心とからだをきたえる子ども
- 「ただしく」 : よく見 よく聞き よく考える子ども
- 「あたたかく」 : 助け合い 共に伸びる子ども



「和・話・輪」

冒頭にも掲げています，この「わ・わ・わ」ですが，「子ども・教職員・保護者・地域の方」としっかり対話をして，お互いが理解し，信頼関係を築き，和（なご）やかに手を取り，大きな輪を創っていきましょう，ということをおねらいとして，この一年間取り組むことを心がけていきたいと思ひます。

伝統と歴史のある伊島学区で大きな輪を築き，未来を拓く子どもたちを育てていきたいと思ひます。

保護者のみなさま，地域のみなさまとともに，自立した元気な子どもたちと，元気な教職員であふれる元気な学校づくりに，教職員一同，全力で取り組んでまいります。結果として，今までも大切にしてきた「笑顔とあいさつ」がいっぱい，大きな輪「チームワーク」のすばらしい伊島小学校になっていきます。

これまで同様に，ご支援とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

この度の異動で 11人の先生方が去り，12人の先生が来ました！

退職・転任した先生方		新しく赴任して来た先生方	
氏名	赴任校・退職等	氏名	前任校等
江口正樹	退職	吉田真弓	岡山市立加茂小学校
安心院翼	〃	森岡陽子	岡山市立中山小学校
橋田康平	〃	藤井永之	岡山市立螢明小学校
福岡育恵	〃	小池翼	岡山市立中山小（新採用）
谷辰雄	〃	小松本佑奈	新採用
矢山憲史	岡山市立南輝小(教頭)	小原貴久恵	新採用
野上律子	岡山市立西小学校	小神谷圭祐	岡山市立庄内小学校
樋口宏治	岡山市立幡多小学校	吉田光之介	岡山市立御南小学校
徳山絢也	岡山市立剛岬小学校	石田浩美	兵庫県阪神特別支援学校
熊岸リエ	岡山市立太伯小学校	阿部桂子	岡山市立御南小学校
小見山弘子	岡山市立富山小学校	増田和彦	岡山市立岡輝中学校
		井上千鶴子	岡山市立中山小学校

伊島小に伝わる「三矢の訓（さんしのおしえ）」



三子教訓状が基になってつくられたとされる三矢の教え（さんしのおしえ）と呼ばれる逸話は，「毛利元就の三本の矢の教え」として有名です。晩年の元就が病床に伏していたある日，隆元・元春・隆景の3人の息子が枕許に呼び出されました。元就はまず1本の矢を取って折って見せます。続いて矢を3本束ねて折ろうとしますが，これは折る事ができませんでした。そして元就は「1本の矢では簡単に折

れるが，3本まとめると容易に折れないので，3人共々がよく結束して毛利家を守ってほしい」と告げ，息子たちは必ずこの教えに従う事を誓ったという話です。

伊島小学校の正門を入るとすぐにこの石碑が，また正面玄関を入るとすぐに掛け軸に書かれた立派な「三矢の訓」という書が目に入ります。校長室にもこの書があります。伊島小学校は，明治7年9月に上伊福・上出石・南方を区域として「伊福小学校」が設立されたのが始まりです。その後，明治23年に伊島・御野・石井の3か村組合尋常小学校となり，明治28年に「伊島尋常小学校」と改称されています。伊島小学校の「三矢」とは，伊島・御野・石井と呼ばれた3つの村が協力して学校を建てたことから，3つの村を「三本の矢」に見立てて，互いに力を合わせて，子どもたちを育てていきましょうという思いが「三矢の訓」として，今日まで伝えられているそうです。

